



朝日子

第161号

令和元年11月29日発行
制作 教務部刊行物広報係

三綱領 自主 好学 敬愛

五条目 志操は高く、品格ある青年学徒たれ
易きにつかず、学道に専心せよ
共励切磋、和して同ずるなかれ
自主自律、責任を完遂せよ
積極敢為、自ら運命を開拓せよ

〒892-0846 鹿児島市加治屋町10番1号
Tel 099-226-1574 Fax 099-223-2409

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/chuo/index.html>

生徒理科研究発表会 [11月1日(金)]

鹿児島県高等学校生徒理科研究発表会が宝山ホールで開催されました。

理数科や科学系部活動からの参加が多い中、本校からは科学部だけではなく探究活動の研究班も参加し、6つの班がこれまでの研究の成果を発表しました。



地学部

地学部は、審査員から出た質問に対し、全員で協力して答えていました。化学部は、審査員の助言を受け、その場でメモを取り、これからの研究に活かそうとする姿が見られました。

審査の結果、物理部門で発表を行った生徒が九州大会出場を勝ち取ることができました。

発表会を見たことさえ初めてという状況の中、参加者全員がよく頑張りました。



化学部

地学部は、審査員から出た質問に対し、全員で協力して答えていました。化学部は、審査員の助言を受け、その場でメモを取り、これからの研究に活かそうとする姿が見られました。

審査の結果、物理部門で発表を行った生徒が九州大会出場を勝ち取ることができました。

発表会を見たことさえ初めてという状況の中、参加者全員がよく頑張りました。

朝日子教育週間 [11月1日(金)~7日(木)]

本校では、毎年、11月1日から7日までを朝日子教育週間として設定し、保護者や一般の方々に授業や部活動を公開しています。

今年は、SSH指定校として授業改善に取り組み、新しい工夫をした授業を、授業公開として設定しました。いろいろな形のアクティブラーニングがあり、生徒が生き生きと授業に取り組んでいる様子が見られました。



これからも授業改善に取り組み、より充実した高校生活を生徒が送れるように努めていきます。

ご来校いただき、参観していただいた保護者および地域の皆さま、ありがとうございました。

第2回避難訓練 [11月6日(水)]

第2回避難訓練が行われました。

前回は地震を想定した避難訓練(4月実施)でしたが、今回はこれから乾燥してくる季節ということもあり、火災を想定した避難訓練でした。

非常ベルが鳴り、避難誘導の放送の後、全校生徒がグラウンドに避難しました。校舎改築の工事中で避難経路も限られる中、全クラス5分程度で避難を終えました。

地震や火事などの災害はいつ起こるか分かりません。どんな場合でも、落ち着いて素早く避難ができるようにしたいものです。

南林寺消防署の方から講評をいただきましたが、その中で火災の原因として電気系統や着衣着火が増えているという話がありました。携帯を充電したまま寝てしまったり、フリース素材



など燃えやすい着衣で火のそばを動いたりすることに注意が必要です。少しでも火災が少なくなるよう日常生活の中で注意をしていきたいと思ひます。

SSH交流フェスタ [11月8日(金)]

第1回鹿児島県SSH交流フェスタが宝山ホールで開催され、2年生が参加しました。

この催しは、錦江湾高校、国分高校、池田学園池田高校、鹿児島中央高校のSSH指定4校を中心とした合同発表会です。これまで取り組んできた研究の成果を、各校から選ばれた班が発表しました。発表班以外の生徒も聴衆として参加し、活発な質疑応答が行われるなど、県内SSH推進校間の交流も図られました。



ステージ部門



パネル部門

性教育講演会 [11月13日(水)]

LHR の時間に1年生を対象とした性教育講演会が行われました。

講師として元鹿児島純心女子大学准教授の谷崎和代先生をお迎えしました。先生は、「お互いを大切にしていればよりよい関係を築くために」と題して、性に対する知識や理解を深めるとともに、互いに尊重しあえるパートナーシップのあり方について、様々な具体例や実演を交えてお話をしてくださいました。



「You(ユー)メッセージ」と「I(アイ)メッセージ」で相手に与える印象が大きく変わることや、家庭における性教育の在り方が国によって異なることなど、生徒にとって大切なことを学ぶ機会になりました。

谷崎先生、ありがとうございました。

AL 研究開発プログラムに係る公開授業(生物) [11月14日(木)]



AL (アクティブラーニング) 研究開発プログラムに係る公開授業として、生物の公開授業が行われました。

3年生の生物の授業で、「昆虫細胞を用いた遺伝子導入実験」に関する授業でした。

これは、2008年に下村脩氏がノーベル化学賞を受賞したことでも知られる GFP (Green Fluorescent Protein) という蛍光を発するタンパク質を、生きた細胞に導入するという実験です。

授業を受けた生徒たちは、日頃の実験ではそこまで意識をすることのない無菌操作の手法を学び、自分たちの手で遺伝子導入をすることができることに興味をもったようでした。

次回以降の授業で、実際に導入した遺伝子が発現し、蛍光を発している様子を観察する予定にしているそうです。

様々な研究分野で実際に行われている実験ですが、今回の授業で興味をもった生徒が、大学で自分が学びたい学問分野をより身近に感じられるとよいと思います。

団訓⑥ [11月14日(木)]

団訓が行われました。少し冷たい風が吹くも、きれいに晴れた空の下、生徒たちは足並みをそろえて走っていました。現在も校舎改築の真っ最中であり、工事関係者の方の御協力もいただきながら団訓は実施されています。

今回は、整列の際うまくいかない場面がありました。完璧にはいきませんが、ひとつひとつ積み重ねていってより良いものにしてほしいと思います。



S S H 先端研究機関研修

[11月14日(木)・15日(金)]

S S H 先端研究機関研修を、1泊2日で実施しました。参加したのは、学校内の発表会やポスターセッションを勝ち抜いた1学年20名の生徒たちです。

理化学研究所(埼玉県和光市)、東京大学(東京都文京区)、国立科学博物館(東京都台東区)の3か所をまわり、日本が世界に誇る先端技術について学びました。



理化学研究所では、研究を支える先端光学素子開発チーム(理研試作工場)や、水冷のスーパーコンピュータ「皐月」を見学したり、イタリア人のマルコ・カソリーノによる JEM-EUSO 望遠鏡の説明を聞いたりしました。東京大学では三四郎池や小柴ホール1階を見学したり、海洋の深層大循環の研究について丹羽淑博准教授から説明を聞いたりしました。

日本の持つ科学技術力にはもちろん、研究に携わる先生方の熱意に圧倒される2日間でした。

12月のおもな予定

- 3日(火) 全校朝礼, 壮行会
- 4日(水) 二者面談・三者面談(45分授業)
統一LHR(学校楽しいーと)
- 5日(木) 団訓⑦
- 6日(金) 二者面談・三者面談(45分授業)
スクールカウンセラー来校日
- 8日(日) 郷中ゼミ(2年, 甲南高校)
- 9日(月) 二者面談・三者面談(45分授業)
- 10日(火) 二者面談・三者面談(45分授業)
- 11日(水) 二者面談・三者面談(45分授業)
統一LHR(1・3年, 人権同和教育)
- 13日(金) 二者面談・三者面談(45分授業)
スクールカウンセラー来校日
- 14日(土) 好学(1・2年)
- 16日(月) 2年は午後放課
- 17日(火) 2年国内体験学習(~20日)
- 21日(土) 北予備センターファイナル(~22日)
- 23日(月) 2年国内体験学習振り返り(午後)
- 24日(火) 後期前半終了, クリーンアップ,
特設LHR
- 25日(水) 1・2年冬季課外, 3年パック模試
- 26日(木) 1・2年冬季課外, 3年パック模試
- 27日(金) 3年冬季課外